

伊深 まちづくり協議会 だより

第 27 号

2015 (H27) 年 6 月 1 日発行

伊深まち協 HP アドレス : <http://ibukamachi.com>



- ・ 生き生き伊深人 (上切 井上武彦さん) …… 1
- ・ 各活動グループの動き / 地域のトピックス … 2
- ・ 参加者募集 …… 3
- ・ 協議会の動き / 伊深の名所・旧跡⑩ …… 4

生き生き 伊深人

巻頭インタビュー▼

地域内で生き活きと活躍されている伊深人にお話をお聞きしました

第 14 回

井上 武彦 さん

上切
昭和 8 年生まれ
82 歳



に働きかけたいきさつがあります。そもそも合併で美濃加茂市が発足した当時、「田園都市をめざす」ということになっていたのに、おかしいじゃないかということです。

Q 長い間農業委員を務められていましたね？
ええ、4 期 12 年間務めました。うち 2 期は山田 (正) 会長の職務代理者として県の理事も務めました。そのおかげで県内各地に出かける機会も数多くありました。

Q あちこちに人脈がおありなのはそうしたおつきあいからということですね？
それもありますし、若いころ代議士の後援会組織の青年部長を務めた関係で、郡上や東濃方面にもよく出かけました。そのころの知り合いで信頼できる友人もたくさんできましたね。

Q 伊深ではどんな活動を？
若いころ青年団長や消防団長を務めました。正眼寺の逸外老師にもいろいろお世話になりました。忘れられないのは松下電器 (現パナソニック) の工場誘致と小学校移設の話があり、伊深の将来のためにと奔走した結果、諸般の事情で実現しなかったものの、伊深小学校に当時ではまだ珍しかったビデオの設備が導入されたということもありました。

Q 市の五次総策定にも関わられたそうですね？
そのことでは、当初計画に「農」のことが軽視されていたため、もっと農業のことを盛り込むよう

Q 少し前には大洞・上切の「農地水環境保全隊」の活動にも取り組まれましたね？
これは県で情報を聞き、いいことだと思って推進したんです。中には制度の理解不足などもあり若干ぎくしゃくした面もありましたが、「共同して自分たちで農地を守る」という気持ちを育てることには役立ったのではないかと考えています。

Q やはり「農」に対する思い入れがお強いんですね
「工業製品にはあるのに農産物には正札がない」という弱さを何とか克服していかないと、という思いがあります。昨年には滋賀県の信楽まで堆肥化施設の見学に出かけました。県内の畜産農家で糞尿処理が追いついていないのを目の当たりにし、「何とかならないものか」と思っていましたから。いいということは何でも積極的に取り入れるべきだと思います。特に最近の獣害の深刻さは「まったなし」の状況ですから、行政の取り組み強化を望みたいところですね。



◀ 『東濃の人から教えてもらった』というごぼうの栽培法に取り組む井上さん。この近くの堤防では自費で『花もも』の並木づ

くりにも取り組んでおられます。

■各活動グループ

の動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。

(代表者の敬称略)

小学校稲作体験支援グループ

代表： 篠田 洋

5.14 (木)、伊深小学校5年生が田植え体験を行いました

今年は場所をプール西の田んぼから交流センター東の田んぼに、品種も「もち」から「うるち(コシヒカリ)」に替えて行いました。多くの児童が手で植えるのは初めてとあって、泥に足を取られながら行う「手植え」の苦労を体験し、米作りの大切さを実感したようでした。



保育園畑作体験支援グループ

代表： 大矢 伸司

5.14 (木)、ほくぶ保育園児がいちご狩りを行いました

保育園ではいちごの収穫が本格的に始まりました。今シーズンは苗の植え付けが遅れたものの、収穫時期はほぼ例年どおり連休明けとなり、園児たちは露地ものならではの味を楽しんでいました。中にはまだ青い実をとってくる子もいましたが、それでも「おいしいねー」と自分の手で取る感触を味わいながらの収穫となりました。



地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

消防第6分団で操法の練習に熱が入っています

消防第6分団では今年5名の新入団員を迎え、6月14日に市で行われる操法大会に向けた練習に熱が入っています。操法は実際の火災現場に必要な基本動作をいかに正確に、いかに早く行うかを競うもので、繰り返し練習することで体が自然に動くようになり、いざというときあわてなくても済むようにするところに意義があります。第6分団の大会での健闘を祈ります。



5.16 オヤニラミの捕獲調査が行われました

5月16日(土)、オヤニラミの捕獲調査が行われました。岐阜大学の向井准教授、学生、市職員、地元の人など計11人の参加でした。今回も電気ショッカーを使用し、捕獲した結果、下流部で7匹、上流部で4匹、計11匹が捕獲されました。この結果について「個体数は確かに少なくなっているようだが、腹に卵を持っているメスが捕獲されたことから、今後も捕獲していく必要がある」という向井先生の話がありました。



◆ 参加者募集!! ◆

第3回

標柱めぐりウォーキング（南周りコース）

『標柱のある伊深の名所めぐり』の第3回目を実施します。今回は<南周り>として正眼寺周辺、関也・糠洞地区へ出かけます。伊深の歴史にふれながら気持ちのよい汗をかいてみませんか。

(※ ゆっくり歩きます)

～ 伊深の風景 再発見 ～



- ◎ 主催 伊深まちづくり協議会
- ◎ 日時 平成27年 **6月13日(土)** ※小雨決行
8:40 受付開始 9:00 出発 ～ 12:00 解散 (予定)
- ◎ 集合場所 伊深交流センター (連絡所) 前駐車場
- ◎ 歩く場所 交流C ～ 禅徳寺 ～ 記念碑群 ～ 秀文義校跡地 ～ 正眼寺 ～ 関也の道標 ～ 秋葉神社 ～ 別れの涙笹 ～ 賀茂神社 ～ 神明神社 ～ 交流C
(途中1回休憩します。トイレあり。)
- ◎ 参加料 地区外の方は100円 (保険料相当額) お願いします
- ◎ 申込方法 参加を希望される方は、6月10日(水)までに、直接、電話、メールなどで、交流センターへ名前、連絡先、人数をご連絡ください。
「伊深まちづくり協議会ホームページ」からも申し込みできます。
問い合わせ先＝ 伊深交流センター (TEL29-1395)
- ◎ その他
 - ・案内役が随行します。
 - ・伊深在住の有無にかかわらず、どなたでも参加できます。
 - ・飲み物は各自でご用意ください。
 - ・歩きやすい服装や足元で、少雨の場合は雨具も用意してください。



■ 協議会の動き

4月定例会のあらまし

4月の定例会では年度替わりに伴う役員構成変更や活動グループ再編・新設などを協議・検討しました。

■ 協議事項：

○新役員について

≫年度替わりに伴う異動を含めた新体制案が示され、5月定例会で承認を求めることにした。

○27年度事業計画・予算について

≫各活動グループからの活動原案が示され、5月定例会で承認を求めることにした。

○第3回標柱めぐりウォーキングについて

≫「南周りコース」として6.13（土）実施で進めることとした。

○「標柱めぐり用マップ」の作成について

≫5月中にワーキンググループを実施することにした。

○新活動グループ「環境美化グループ（仮称）」について

≫主に県道の路肩整備を中心に環境整備を進めるグループの新設が提案され、具体化に向けて詰めていくことにした。

伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第10回 大洞の岩観音（大洞）

伊深北部の山間部に細長く伸びる洞を文字どおり「大洞」と呼び、「大洞の岩観音」はその集落の入口にあります。大洞には牛牧ほど大きな岩山はありませんが、このあたりは一つの大きな岩山を成しており、その一部で洞窟になっているところに神秘性を感じた昔の人が祀ったものと思われます。道路がまっすぐに整備された今は単なる通過点にすぎませんが、人が歩いて往来していた時代には、恐らく通行の分岐点として重要な場所であったと思われます。そして、その洞窟は牛牧のガンセキに通じているという言い伝えがあります。穴に入った鶏が反対側の洞窟から出てきたからというのですが、人が通り抜けたという話は聞いたことがありません。

【標柱】あり



岩観音と呼ばれる洞窟は標柱から10mほど上がったところにあります。

【位置】



〔お断り〕 5. 1号は休刊しました。